

問225 ショックのうち，Ⅰ型アレルギーによって起こるものはどれか。

- ① 出血性ショック
- ② 心原性ショック
- ③ 敗血症性ショック
- ④ 神経原性ショック
- ⑤ アナフィラキシーショック

解説

ショックとは，重度の刺激により**急激に心拍出量が減少**した結果，末梢組織において，重篤な循環不全が起こり，低酸素などによる組織障害が起こった状態をいう。

- ・**出血性ショック**：大量の出血を伴うショック
- ・**心原性ショック**：急性心不全などによるショック
- ・**敗血症性ショック**：細菌感染症，特に細菌が産生する毒素（エンドトキシン）により生じるショック
- ・**神経原性ショック**：神経反射により生じるショック
- ・**アナフィラキシーショック**：**Ⅰ型アレルギー**に関与し，血管の拡張と血管透過性の増加により起こる

こちらの方が覚えやすいし，理解しやすいと思います・・・何冊かの教科書の記載もこちらです



解説より

ショックとは、重度の刺激により**急激に心拍出量が減少**した結果、末梢組織において、重篤な循環不全が起こり、低酸素などによる組織障害が起こった状態をいう。

- **血液分布異常性ショック** ※血管の中身が減らない（血管が急激に拡張して血圧が下がる）
⇒敗血症，アナフィラキシー，脊髄損傷など
- **循環血液量減少性ショック** ※血管内の成分が減少する（血圧が下がる）
⇒大量出血，脱水（血しょうが減る），腹膜炎（腹水がたまる⇒血しょうが減る），
熱傷（はがれた皮膚から水分が蒸発する⇒組織液が減る⇒血しょうが減る）
- **心原性ショック**
⇒心筋症，弁膜症，不整脈など
- **心外閉塞・拘束性ショック** ※心臓が外部から圧迫を受け，正常な循環を確保できない⇒血圧低下
⇒心タンポナーデ（心臓の外に液体がたまる），
重度肺塞栓症（⇒肺に向かう血液が詰まる/肺から帰ってくる血液が少ない）

とありますが，教科書を逸脱しているような気がしております…

